

何年先までも、ずっと ともに、創ろう！ 住み続けられる「大船渡」を

人口減少や少子高齢化が進行するなか、いかに魅力的なまちづくりを進め、持続可能なまちを創るかが大きな課題です。

やすらぎに包まれた
暮らしの中で、活気
あるまちを創る

本市では、これまでの復旧・復興事業での成果や、多くの人々との絆をもとに、市民と地場企業、各種団体などと一緒にとなって、日常生活の安心・

年表

令和	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
	5月	3月	3月	4月	5月	6月	9月	10月	11月	11月	11月	12月		
	大船渡市I・L・C推進協議会設立	住田町と定住自立圏形成協定締結	越喜来中学校、吉浜中学校、日頃市中学校が閉校し、第一中学校に編入	新型コロナウイルス感染症対策室設置	旧甫嶺小学校を利活用し、甫嶺復興交流推進センター開所	大船渡港湾緑地・みなと公園開園	復興記録誌発行	大船渡港湾緑地・茶屋前緑地開園	赤崎中学校、綾里中学校が統合し、東朋中学校開校	東京2020オリンピック聖火リレー開催	千石船気仙丸をおおふなぼーと付近に陸上展示	漁村センターを改修した防災学習館運用開始	大船渡アスリート応援団発足	三陸沿岸道路全線開通



地区で安心して暮らすためには、
人と人の繋がりが重要



とみかつ 村上 富勝さん
(ひころいち町まちづくり推進委員会 事務局長)

地区全体で話し合い、
「まちづくり推進委員会」
を立ち上げた

日頃市町では、令和元年から、住民みんなで、地区の将来を考える研修会や説明会を行いながら、地区全体の話し合いを進めてきました。そのなかで、住民が安心して暮らしていくために、人と人の繋がりを深めることが重要と考え、昨年、「ひころいち地区づくり計画」を策定し、計画を実践する「ひころいち町まちづくり推進委員会」を設立しました。

計画策定のため、町内13地域から3人を選出してもらいました。その内1人は公民館

地区が持続していく
ために、今やれること
をやらなければなら
ない

主事で、他の2人は、これからまちを担う50歳未満の人としました。
はじめは、皆、やらされているという感じでしたが、専門スタッフが加わり、部会に分かれて話し合うようになってからは、活発に意見が出るようになりました。

各部会ごとに様々な活動を予定していましたが、昨年度はコロナ禍で、あまり実現しませんでした。

今年には地区の文化祭と日程を合わせて、「軽トラ市」を開催する予定です。はじめてで不安はありますが、地区の人たちが、顔を合わせる良い機会としてぜひ開催したいです。これからは地区が続いていくためには、地区の人同士が助け合っていかなければなりません。そのために、今、人と人の繋がりをつくる活動をしていると思って、一つずつ取り組んでいきたいです。

安全がしっかり確保されたやすらぎあるまちづくりを進めます。それと並行して、協働のまちづくりの推進、地場産業の振興、観光客の誘致や各

地域の人の見守りと挨拶が、
心とやる気を与えてくれる



ゆうか 和野 友奏さん
(猪川小学校 6 学年)

高学年は低学年を見守り、地域の人は子どもを見守って、安心の集団登校

私は、毎朝、集団登校をしています。班員は10名で、学校まで1列になって、15分から20分かけて歩いていきます。列が長いので、高学年の私たちは、低学年の子が列をはみ出さないか、歩く間隔が開

き過ぎないかと、気を配っています。
学校の坂の下には、いつも緑色のベストを着た方(交通安全母の会)が立っていて、登校する私たちを見守ってくれているので安心します。
そして、「おはよう」とか、「いってらっしゃい」と挨拶をしてくれます。それを聞くと、「今日も頑張ろう!」と思います。



環境部会が行った五葉山登山
参加者は、日頃市中学校の生徒時代に経験した五葉山清掃活動の思い出などを語りながら、楽しく山頂を目指した